

令和4年度第2回 旭川市総合戦略検討懇談会 議事録（案）

日時 令和5年3月22日（水） 午後6時00分から午後7時40分まで

場所 旭川市子ども総合相談センター研修・会議室1

出席者

参加者

（50音順）

赤松 昌輝氏 ， 荒山 恭一氏 ， 市川 陽一氏 ， 工藤 直志氏 ，
黒川 伸一氏 ， 種田 仁郎氏 ， 西 康子氏 ， 福屋 聖恵氏 ，
水上 崇氏

オブザーバー

財務省北海道財務局旭川財務所長 吉沢 貢氏

北海道開発局旭川開発建設部地域振興対策室長 河門前 勝己氏

国土交通省北海道運輸局旭川運輸支局首席運輸企画専門官 加茂 聖和氏

農林水産省北海道農政事務所地方参事官 森岡 哲夫氏

北海道上川総合振興局地方創生部長 片岡 英善氏

事務局

総合政策部長 熊谷 好規

政策調整課長 北嶋 一雅

政策調整課主査 石田 直紀

政策調整課主査 丸山あゆみ

政策調整課 岡本 諭志

政策調整課 森田 創

会議の公開・非公開

公開

傍聴者の数 3名

会議資料

- 資料 1 デジタル田園都市国家構想を踏まえた総合戦略改訂の考え方（案）
- 資料 2 旭川市まち・ひと・しごと創生総合戦略関連事業一覧（案）
- 資料 3 令和4年旭川市の人口動態

会議次第

1 開 会

2 議 題

- (1) デジタル田園都市国家構想を踏まえた総合戦略改訂の考え方について
- (2) 令和5年度旭川市まち・ひと・しごと創生総合戦略関連事業について
- (3) その他（令和4年人口動態）について

3 閉 会

1. 開会

※ 前回の懇談会において、参加者から、若者の出席を求め、意見を採り入れるべきとの提案があったため、旭川大学の学生3名に傍聴いただいている旨、事務局より紹介。

2. 議題

(1) デジタル田園都市国家構想を踏まえた総合戦略改訂の考え方について

(事務局)

資料1に基づいて説明

(進行役)

今、事務局から説明がありました資料1について、質問・御意見等ありましたらお願いします。

私の方から1点よろしいでしょうか。デジタル田園都市国家構想交付金のデジタル実装タイプ1事業は、まだ申請中ということで交付決定はされていないという理解でよいでしょうか。

(事務局)

既に内示があり、申請どおり、交付決定を受ける見込みです。

(進行役)

この事業は、令和5年度から開始される総合戦略に位置付けられる事業ではなく、現行の事業ということでしょうか。

(事務局)

デジタル実装タイプについては、総合戦略に位置付けられる事業であることは求められておらず、地域の市民サービスの向上につながる事業でデジタル実装に関連するものであれば、財政支援をいただけるものであり、単年度の事業として申請しているところです。

(進行役)

この事業は、報道にあるとおり、町内会の回覧板をタブレットにするというものでしょうか。

(事務局)

回覧板を電子化することもアプリの機能の一つですが、市政情報の発信であったり町内会活動のギャラリーの発信であったりなどの機能を持たせることとしています。アプリをダウンロードしていれば回覧板を見ることができますが、タブレットを配付するというものではありません。

(進行役)

本格的にデジタル田園都市国家構想を採り入れる時期は、次の総合戦略からという理解でよいでしょうか。

(事務局)

既にデジタル実装に向けた取組を各部局で進めているため、これを精査した後に戦略に盛り込むというスキームです。

(進行役)

このスケジュールで遅いということはないのでしょうか。スピード感としてはいかがでしょうか。

(事務局)

他の自治体に改訂時期について確認しましたが、まだ、検討中との回答が多く、軽微な変更について来年度に行う自治体が多いようです。本市のみが遅れているという状況ではないと考えております。

(2) 令和5年度旭川市まち・ひと・しごと創生総合戦略関連事業について

(事務局)

資料2に基づいて説明

(進行役)

ただいま、事務局から説明を受けた事業については多岐にわたるので、どの事業に対する質問や意見でも構いません。何かあればお願いします。

(A氏)

不妊対策推進事業については、予算を削るにでは大幅な額であると考えます。前年度の予算と比較し、減額となった理由を教えてください。

(事務局)

後ほど回答します。

(B氏)

子育て支援部の事業が28あります。忙しくて取り組むことが可能かであるか心配です。いじめ問題に関する事業は、子育て支援部と教育委員会で担当するのでしょうか。

(事務局)

市長部局に新しい部を立ち上げる予定であり、教育委員会の職員を併任させて、いじめ防止対策に関する業務を子育て支援部から移管する予定としております。

(B氏)

学校照明LED整備事業の事業費は、2万8千円で誤りはないのでしょうか。

(事務局)

令和5年度は準備期間であり、計画策定の予算を計上しております。整備の予算は、令和6年度以降に計上する予定です。

(A氏)

学校照明LED整備事業に関連しまして、発言します。親御さんとしては、学習環境の充実という点で、LEDを整備するよりもクーラーを設置してほしいという希望をお持ちです。ゼロカーボンシティ旭川の実現には逆行するとは思いますが、クーラーの設置を優先すべきと考えます。検討の余地はないのでしょうか。

(事務局)

重要な課題であると受け止めております。

このたび提案している事業は、電気代が下がる分と設備の導入費とを相殺することができるため、整備が可能と判断しているものですが、クーラーの設置となると、事業費が純増することになります。費用の面から現時点では難しい課題ですが、検討課題であることは十分に認識しております。

(進行役)

学校にクーラーは設置されていないのでしょうか。

(事務局)

設置されている学校はありますし、順次、設置している状況です、学校教育部と協議しながら必要な予算措置がなされています。

(C氏)

子育て世代包括支援センターをまちなかに設置しましたが、対前年度比で相談の件数はかなり増えたのでしょうか。状況をお聞かせ願います。

前年度予算と比較し、2千万円増額とされていますが、その効果はあるのでしょうか。

(事務局)

まちなかにあることで、気軽に相談できる状況になった、相談しやすい環境になったという声があることは確認しております。

ツルハビルと第2庁舎で対応することが可能となり、利便性は高まっているものと考えます。

(C氏)

令和5年度で8千500万円の予算が計上されています。

去年と比較して2千万円の増となっていますが、それだけの効果があるのか確認したいのですが。

(事務局)

ビルの賃借料を計上しておりますが、令和4年度の途中に開設しておりますので、1年分ではなく、令和5年度は1年分の費用を計上しているため増加しております。

セミナーなどの開催により稼働率も上がるものと見込んでおり、利用者も増えていくものと考えております。

令和4年4月から9月に子ども総合相談センターで受け付けた件数と令和5年2月までに子育て世代包括支援センターで受けた相談件数とを比較しますと、月平均で10件程度増えております。

市民の理解が深まれば、さらに利用件数が増えると考えます。

(C氏)

効果が出るのであれば投資的な意味でよいと思うのですが、いかがでしょうか。

(事務局)

センターにはプレイルームがありますし、気軽に来てもらうことが可能となれば、相応の効果があると考えております。

(C氏)

まちなか交流賑わい創出事業について、前年度と比較しようと思いましたが、前年度の予算案の概要には出ておりませんでした。前年度の予算額を教えてください。

(事務局)

前年度と同額を計上しております。

(C氏)

優良建築物等整備事業補助金の事業内容について、令和5年度は、新たな2つの地区で開発を実施する事業者に補助するとあります。これは決定しているのでしょうか。

場所はどこでしょうか。建設予定地があると考えます。

(事務局)

中心市街地ではありますが、協議段階にあるため、御回答できないことを御理解願いたいと思います。

(C氏)

ジオパーク構想推進事業について地域おこし協力隊を活用するとありますが、この構想はこれからも推進していくのでしょうか。過去には岩出さんが活動されていましたが、一旦途切れたと思います。再度続けていくという理解でよいのでしょうか。

(事務局)

今後、活動を展開する予定でおります。圏域の取組に、当麻町も参加することとなったこともありますし、今後、圏域で推進してまいります。

(C氏)

人選などは進んでいるのでしょうか。

(事務局)

予算成立後、進めていくこととなります。

1市8町で取り組み、日本ジオパークの認定を目指す1年になると思います。そのような予算を見ております。

(C氏)

それだけの回答しかできないのであれば仕方ないと考えます。

(B氏)

旭川空港の利用が急激に拡大しております。道外からの観光では、かなりの比率でレンタカーの需要が高まっているものと思います。そこでお聞きしたいのですが、旭川空港から北インターに向かう工事が急ピッチで進んでいるので、富良野を經由しての道東への事業の進捗状況、その先の検討について教えてください。旭川空港の利用拡大という点で事業に大きな影響を与えるものと考えます。

十勝道路でトンネルを掘っているはずですが。空港とどのように絡んでくるのでしょうか。

(D氏)

期成会などで道路整備について要望がありますが、上富良野町～中富良野町間については、現在交通課題等について、把握・分析を進めつつ、必要とされる道路機能に関する調査を実施中であり、引き続き必要な調査などを実施しているところで、まだ具体的な事業化には至っておりません。中富良野～富良野間の「富良野北道路」では工事を実施している状況ですが、引き続き関係機関と連携を図りつつ、みなさまの意見を聴いて地域の御理解と御協力を得ながら、事業の早期開通に向け整備を進めているところであります。

空港から旭山動物園への道路は道道であり「旭川東神楽道路」として北海道において事業を実施しています。繰り返しになりますが、これらの道路整備については、旭川市長をはじめ、各首長で喫緊の課題として要望をあげていただいている事を御理解いただきたいと思えます。

(E氏)

要望というかエールとして発言します。企業誘致については、千歳市に半導体のラピダスが進出し、経済産業省でも人材を送ると聞いております。空知の自治体も熱心に誘致を

進めていたと聞いておりますが難しかったようで、また道央圏かという思いがあります。

北インターの整備で魅力がアップしたはずであり、水のきれいさでいえば、旭川も負けないと考えます。東京事務所の活動もありますし、周辺自治体と連携しながら誘致を成功させてほしいと考えます。誘致により、空路の拡大にもつながります。東京のほか、関西にも力を入れていくことを希望いたします。

(事務局)

令和5年度の企業誘致の取組として、IT企業への補助など規模の小さい会社も誘致するよう進めることとしています。

また、製造業は経済波及効果が大きいので、引き続き、水が豊富で、きれいという優位な点も生かして企業誘致に取り組めます。

(進行役)

関西圏、大阪への取組はどのようになっていますか。

(事務局)

他の自治体との交流を活発に行うため、各自治体の事務所が集積する場所に東京事務所を移転いたしましたし、私も北海道の大阪事務所の方とお会いしましたし、今後、コネクションがとれて企業誘致につながればとの感触をつかんでおります。

まずは、東京事務所での取組をしっかり進める考えです。

(A氏)

医療費助成に関して、中学生までの無償化では、かなり大きな金額になってくると考えます。

子育てしている側としてはありがたいのですが、ただ、無料だから診療を受けようと考え、必要もないのに受診する方が出てくるのが懸念されます。予算の中に、この対策の費用は計上されているのか、お聞きします。

(事務局)

課題であると認識しております。無償化が始まる8月以降の状況を見て、判断してまいります。

(A氏)

学校 ICT 環境整備事業についてお聞きします。小学校ではタブレットの授業が開始されていますが、中学校ではタブレットの学習が始まっていない学校もあります。

一方で、ある高校については、春から入学するに当たり、パソコンかiPadが必要にな

っております。低所得者には貸与も可能とされていますが、市からのサポートが必要と考えます。いかがでしょうか。

(事務局)

高校は道立校が多いということもあり、現状小中学校での実施としております。連携しながら検討してまいりたいと考えます。

(A氏)

女性デジタル人材・起業家育成事業については、大事なことだと思います。

学びの支援が大事であり、子育てや介護をしながらでは、スキルを身につけても生かせないことが課題と考えております。子どもがいると、在宅勤務も難しいです。

また、病児保育についても伸びしろがありますので、検討していただきたいです。

(事務局)

女性活躍推進部が新設されますので、様々な課題を整理した中で、就労などの点でどのような取組がよいか検討を進めてまいります。

(進行役)

デジタル人材の育成と女性の再就職との関連性はどのようになっていますか。

(事務局)

家にいても仕事ができるようになるなど、デジタル技術を身につけることで、育成支援策になると考えます。

(進行役)

子育てしながら働けるようになるという理解でよいですか。

(事務局)

支援することも可能であるということです。

(進行役)

フォーカスするのではないのですか。

(事務局)

ライフステージに応じて、一つの取組として実施したいと考えております。

(B氏)

医療費無償化に伴う対策については、近隣の市町村の取組を参考にしたらよいと考えます。

(事務局)

状況を聞いてみたいと思います。

(C氏)

旭川大学の市立化についてですが、デザイン創造学部をまちなかに設置するかどうかで市議会で話が出ていたと思います。議会の判断は出たのでしょうか。

(事務局)

議会の判断ではありませんが、開学の時期や予算などの観点から、旭川市の方向性として永山が現時点で最適であると説明しております。

(C氏)

まちなかを活性化するという、将来を展望した中では新学部をまちなかに設置する方が有効です。たとえ予算が増えようとも、将来像を描いた中で活性化できれば、投下した費用を回収できると考えます。

今後、議論されるときにお話いただければありがたいです。

(事務局)

新学部の設置場所については、検証した結果、建設コストや開学の時期が大幅に遅れるということを考え、永山が最適の方針を持っております。開学に向けた準備を本格的に進める中で、また説明していきたいと考えます。

指摘については十分受け止めます。

(3) その他(令和4年人口動態)について

(事務局)

資料3に基づいて説明

(進行役)

ただいま説明のあった事項について、何か御意見はありますか。

(A氏)

転出入の状況について説明がありましたが、人数ではなく、世帯数での把握はなされていないのでしょうか。

(事務局)

現在は行っておりませんが、市の統計担当と相談して、次回以降、お示しできればと思います。

(C氏)

出生数に係る KPI を設定していたと思いますが、達成しているのでしょうか。

(事務局)

合計特殊出生率の数値目標を文言で記載しており、「全国平均との乖離を縮小し、全国水準まで上げる」としています。全国平均と同数となったため、数値目標としては達成しているという状況です。

(C氏)

出生数は減少している状況です。合計特殊出生率ですと、分母が減少すると数値がよくなります。

現状をどう捉えるべきか検討する必要があります。全国平均で捉えることがよいのでしょうか。出生数をどう上げるかが課題であり、KPI の設定について検討する必要があると考えます。

(事務局)

これまでは国と同じような動きをすることが多かったため、このような KPI を設定していたところですが、出生数自体が大幅に下がっている現状を踏まえまして、戦略改訂に向けては KPI も含めて、皆様にお諮りしたいと考えます。

(F氏)

東日本大震災から12年が経過し、復興と国勢調査の状況を報じたテレビ番組を見ました。

若い人の考えを一切否定しないこととしたり、企業直営の保育所を作り女性が安心して働けるようにしたりと取り組んでおり、また、ドローンやAIなどの先行投資を行ったりと興味深いものでした。

今、事務局から説明がありましたが、本市の人口減少についての現状は、グラフより、もっと暗いものと考えます。新しい学部をまちなかに作ることはこれ以上ない話と考えます。現在のまちなかは、5条以降は真っ暗。2条から暗いです。

若い人が来て雇用が生まれることが大事です。

(事務局)

若者、特に女性の転出は、市として大きな課題であると認識しております。

若年層の女性で市外に転出される方が多く、出生率の減少が進んでおりますが、人口減少対策については特効薬がない状況です。女性活躍など様々な方面で取組を組み合わせながら検討してまいります。最先端技術の導入や、1次産業の振興についても試行錯誤しながら推進してまいります。東北の取組も参考になるものと改めて感じました。

(進行役)

このような対策は、政治が決めるものなのでしょうか。

(事務局)

明石市の取組が、一つの先行事例であると考えます。

東北の事例にもありましたが、自治体、企業とともに進めていくことが大事であると考えます。

(進行役)

行政がプッシュするものなのでしょうか。

(事務局)

行政であっても、政治であっても、データがないと、課題把握ができない状況にあります。行政、政治、市民で一緒に考えていく問題であると捉えております。

(進行役)

新しく、若者の視点を取り入れて、戦略の改訂を進めてほしいと考えます。

(A氏)

いじめ防止対策に見られるように、市の事業は対症療法に特化しています。

人間関係を築くことが大事です。明石市ではサポートが行き届いており、子ども食堂が地区ごとにあり、市で支援しています。おせっかいができるとういと考えます。

(事務局)

市としては短期的な取組も必要ですが、中長期的な視点が必要であるということは、おっしゃるとおりであり、今後も対応してまいります。

(進行役)

オブザーバーの方から何かありますでしょうか。

(D氏)

人口減少対策については、上川管内の23の首長に聞いておりますが、必ず出てくる言葉「キーワード」はマンパワーです。人口減少は仕方ないのですが、強力なサポーター、関連人口をいかに取り入れるかが大事です。企業は、場合によっては誘致しなくても独自に来ているという実態もあります。移転の理由としては、自然環境、空港との距離、地域とのふれあい、そもそもその地域が好きだからというものです。

旭川は32万人のマンパワーがありますので、政治、行政、市民の皆様がスクラムを組んでいけば良いのではと考えます。

空港があり、北海道の真ん中で、災害が少なく、自然が豊かという好立地を生かしていただきたいと思います。

この懇談会の議論は、明確に数字には表せないものがあるかもしれませんが、次の世代に着実につながっていくものと考えます。

(進行役)

委員の皆様から、全体を通して何かありますでしょうか。

それでは、進行を司会に戻します。

(事務局)

皆様には限られた時間にもかかわらず、有益な御意見をいただき、ありがとうございます。いただいた御意見に関しましては、議事録にまとめまして、後日、皆様に送付させていただきます。御確認いただいた上でホームページ上に公表させていただきます。

次回の令和5年度の懇談会につきましては、今回お示しした戦略関連事業やデジタル田園都市国家構想交付金に係る事業の評価検証のほか、必要に応じて戦略の改訂についても意見を伺っていきたいと考えております。

以上をもちまして、令和4年度第2回の旭川市総合戦略検討懇談会を終了させていただきます。皆様には、今後におきましても、総合戦略や地方創生関連施策に関しての御意見を賜りたいと思いますので、何卒よろしくお願いいたします。

3. 閉会